

# 2020年春派遣

## APU—慶熙大学(韓国)

### 学部ダブルディグリープログラム募集要項



申請期間	2019年6月19日(水)～7月10日(水) 16:30
書類審査結果発表	2019年7月16日(火) *あなた宛の重要なお知らせにて連絡します
個人面接実施予定	2019年7月17日(水)～19日(金) *時間は後日連絡
内定結果発表	2019年7月23日(火) *あなた宛の重要なお知らせにて連絡します
最終選考結果発表	2019年9月10日(火) *2019年度春セメスターの成績を確認のうえ最終結果をお伝えします。
内定者ガイダンス	渡航までに最低3回実施予定。(参加必須) 1回目:2019年7月24日(水)*場所・時間:後日連絡 2回目:2019年10月2日(水)*場所・時間:後日連絡 3回目:2020年1月15日(水)*場所・時間:後日連絡
出発	2020年2月初旬

- \*上記のスケジュールは、変更される可能性があります。
- \*面接日は大学が指定します。面接期間中は授業以外の予定を空けておくようにして下さい。
- \*必要に応じて面接期間以外に個別面談を行うことがあります。その場合、日時は別途お知らせします。

## 目次

【プログラムの趣旨・概要】	2
1. 申請および選考について	3
(1) 申請条件	3
(2) 申請方法	4
(3) 選考基準	5
(4) 採用人数	5
2. 期間について	5
(1) 派遣期間	5
(2) 学籍上の取り扱い	5
3. 内定後の手続きについて	6
(1) 必要な手続き・書類の備	6
4. 留学前の APU での履修と自主学習について	7
(1) 2019 年度秋セメスターの APU での履修について	7
(2) 自主学習について	7
5. 単位認定および留学中・帰国後の履修について	7
(1) 単位認定について	7
(2) 留学中と帰国後の履修について	8
(3) 言語教育科目(必修)の履修免除について(英語科目/日本語科目)	8
(4) 英語基準学生の日本語履修について(注意)	8
6. KHU 学位取得のための要件	8
(1) 春入学生<KHU での単位修得モデル>	9
(2) KHU 卒業要件	9
7. 現在受給中の奨学金の留学期間中における取扱いについて	10
8. 留学にかかる費用について	10
9. 合格の取消しならびに派遣の中止・中断について	10
10. APU への授業料支払いについて	10
11. 免責事項・注意事項	11
(1) 海外実習時における注意事項	11
(2) プログラムの中止や内容の変更、参加の取り消し	11
(3) プログラム参加決定後(合格発表後)の辞退について	11
12. その他	11
(1) 個人情報の取扱いについて	11
(2) 姿勢	11
(3) 履修計画について	11

### <慶熙大学/国際学部について>

慶熙大学/国際学部は、1949年に創立された、幼稚園から大学院までの総合教育体系を備えた私立大学です。(THE アジアランキング 36位(2017年)、QS アジアランキング 37位(2016年))。現在ソウル、スウォン、クアンヌンの3カ所にキャンパスを備えており、国際学部はスウォンキャンパスとなります。アジアを中心とした地域研究や地域文化、国際関係など、APUのアジア太平洋学部と親和性の高い授業を受講することができます。全ての授業を英語のみで開講しています。

### 【プログラムの趣旨・概要】

本ダブルディグリープログラムは、APU と韓国の慶熙大学 (Kyung Hee University: 以下、KHU) の学生が、所属大学の 2 年間と相手大学での 2 年間の留学をあわせて、合計 4 年間の学修を行い、両大学の学位取得が可能となるプログラムです。

年度	回生	在籍大学・学部
2019 年度	1 セメスター	APU, アジア太平洋学部
	2 セメスター	
2020 年度	3 セメスター	KHU, 国際学部 (College of International Studies)
	4 セメスター	
2021 年度	5 セメスター	KHU, 国際学部 (College of International Studies)
	6 セメスター	
2022 年度	7 セメスター	APU, アジア太平洋学部
	8 セメスター	

#### \*卒業時期に関する注意点

APU の卒業は 2023 年 3 月ですが、KHU の卒業は 2023 年 8 月となります。

#### 【取得できる学位】

APU: 学士 (アジア太平洋学) Bachelor of Social Science

KHU: 学士 (国際学) Bachelor of International Studies

#### 【KHU で所属する学部】

College of International Studies

## 1.申請および選考について

### (1)申請条件

No.	条件	NOTE
1	言語基準に達している者	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願時にいずれかのスコアを有する者 TOEFL PBT(ITP) : 530 点以上 TOEFL iBT : 71 点以上 IELTS : 5.5 以上</li> </ul>
2	2019 年春現在、アジア太平洋学部 に在学する第 1 セメスターの 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>このプログラムは 2~3 回生を韓国で学修するため、現在 1 セメスター目の学生しか応募できません。また、受入大学の専攻分野の関係上、アジア太平洋学部生のみが対象です。</li> <li>韓国籍の学生は、本プログラムには応募できません。</li> </ul>
3	APU の学修分野において、「国際関係(IR)」を希望していること	<ul style="list-style-type: none"> <li>KHU で留学中に提供される科目は、国際関係が中心になります。その為、APU の学修分野において、国際関係(IR)を希望する学生の参加を推奨します。</li> </ul>
4	2019 年度春セメスターの履修登録 単位数が 16 単位以上の者	
5	言語科目について 日本語基準の場合:第 1 セメスター 一終了時に「英語中級」を修得済 もしくは修得見込の者 英語基準の場合:第 1 セメスター 終了時に「日本語初級」を全て修 得済もしくは修得見込の者	
6	韓国語を学習する意志のある者	
7	2019 年度秋セメスターに、大学 が指定する科目を履修する意思 のある者	履修推奨科目(予定) <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際関係論入門</li> <li>・政治学入門</li> <li>・韓国語 I</li> <li>・アジア太平洋の歴史</li> <li>・統計学</li> <li>・地域研究入門</li> <li>・経済学入門</li> </ul> ※英語開講科目の履修が望ましい

## (2) 申請方法

ダブルディグリープログラムの申請は以下のステップが必要です。注意事項をよく読み、申請を行ってください。全ての Step を完了しない場合は、申請不備となり選考を行いません。

### Step 1: オンライン申請の準備

オンライン申請の最後に①英語スコアのコピー②証明写真(データ)③経費支弁書(PDF, JPEG など)をアップロードする必要がありますので、それらを事前に準備してください。

#### ① 英語スコアのコピー (TOEFL/IELTS 等)

- ・スキャンしたデータ、あるいは写真のデータ(PDF, JPG など)をご準備ください。
- ・内定後、コピーの提出が必要です。原本はご自身で大切に保管しておいてください。
- \*英語基準の学生も提出が必要です。申請締切日時点で有効なスコアを出してください。

#### ② 証明写真(データ)

- ・オンライン申請の最後に自分の顔写真をアップロードする必要があります。
- ・正面を向き、帽子、マスク、サングラスなどは着用していない写真データを準備してください。
- ・過去 6 ヶ月以内に撮影されたものが望ましいです。
- ・写真のファイル名は例に従い、「Photo\_学籍番号\_氏名(アルファベット).jpg」としてください。

例) [Photo\\_11111111\\_RITSUMEIHanako.jpg](#)

#### ③ 経費支弁書 (PDF、JPEG など)

以下のウェブサイトより経費支弁書をダウンロードし、経費支弁者および申請者自身の直筆署名したものをデータ化(PDF, JPG など)し、アップロードしてください。

<http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0298.html/?c=17>

- ・ファイル名は例に従い、「Financial\_Support\_学籍番号\_氏名(アルファベット)」としてください。

例) [Financial\\_Support\\_11111111\\_RITSUMEI\\_Hanako.pdf](#)

### Step 2: オンライン申請(Lime Survey) (申請期間のみ入力可能です)

- ・以下のアカデミック・オフィスウェブサイトに掲載されている申し込みフォームより申請してください。

<http://en.apu.ac.jp/academic/page/content0298.html/?c=17>

- ・オンライン申請で使用する言語は、質問の指示に従ってください。
- ・推奨ブラウザ: Firefox
- ・オンライン申請完了後は“Print your answers”をクリックし、申請内容を印刷し、保管しておいてください。ご自身の申請内容に関して疑義がある際は、必ず印刷した申請内容を持参してください。それがない場合には疑義を受け付けません。
- ・複数回入力を行った場合は、入力日が新しいもののみを受け付けます。
- ・申請に当たっては、KHU でどのような学修をしたいか、将来の目標は何か、このプログラムに参加する意義は何か、これからどんな準備をするか、などをよく考えて申請してください。

### (3)選考基準

選考は、申請書類、学修計画、語学運用能力成績、面接、学業成績などの結果に基づいて、総合的に判断します。

#### ① 選考内容

##### 出願時に提出するエッセイ

- 本プログラムへの参加目的が明確であるか。

##### 語学運用能力

- 外国の大学で勉強生活を送るにふさわしい英語運用能力を有していること。
- 学内選考の際、申請時の言語条件を満たしていること。

##### 面接

- 目的意識、留学計画、学修計画が明確であること。
- 派遣国社会に溶け込むのに必要な適応性があり、自らの力で留学生活における困難を乗り越える力と、それに対する心構えを有していること。
- 十分な言語運用能力を保持していること。

#### ② 最終結果発表

##### 学業成績(GPA)、語学運用能力

- 2019年春セメスターの当該GPAが2.80以上であること。
- 2019年春セメスターの修得単位数が16単位以上であること。
- 2019年春セメスター終了時に英語中級もしくは日本語初級を修得済みであること。
- TOEFL PBT(もしくはITP):530点以上、TOEFL iBT:71点以上、IELTS:5.5以上であること。

#### 注意事項

2019年9月9日までに指定の基準に満たない場合は派遣が取りやめになります。派遣内定後もしっかりと学習に取り組んでください。

原則として派遣が決定した場合は、プログラムの辞退はできません。

#### (4)採用人数

若干名

#### 2. 期間について

##### (1) 派遣期間

2020年2月～2022年2月

## (2) 学籍上の取り扱い

- 留学中は、学籍状態が「通常」から「留学」に変更されます。
- 学籍が「留学」であるセメスターに APU で開講する科目を履修することはできません。

[2020 年派遣の場合の学籍状態]

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
	1 回生	2 回生	3 回生	4 回生
	第 1～2 セメスター	第 3～4 セメスター	第 5～6 セメスター	第 7～8 セメスター
APU での学籍	通常	留学	留学	通常

## 3. 内定後の手続きについて

### (1) 必要な手続き・書類の準備

内定後、以下の申請書類を準備する必要があります。

- ① 留学申請として KHU に提出
  - ・KHU へのオンライン申請(KHU より指示があります。)
  - ・APU2019 年春セメスターの成績証明書(10 月初旬より発行)
  - ・パスポートコピー
- ② ビザ取得関係書類
  - ・パスポート(留学期間に加えて 6 ヶ月以上の残存有効期間が必要)
  - ・銀行残高証明書 2 通 (英語表記、通常残高が必要)。

\*そのほか、ビザ取得に必要な書類は韓国大使館のウェブサイト等で確認すること。
- ③ APU への書類提出
  - ・誓約書
  - ・留学願
- ④ 留学のための保険手続き  
個人で既に加している場合も、APU 及び派遣先大学が指定する海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、内定者に第 1 回目のガイダンスで説明します。
- ⑤ 予防接種  
ガイダンスにて別途説明します。
- ⑥ Ccampusmate で学修分野「国際関係(IR)」への登録  
2019 年秋セメスターA期間で登録をしておくこと。

#### 4. 留学前の APU での履修と自主学習について

##### (1) 2019 年度秋セメスターの APU での履修について

- 2019 年度秋セメスターに、以下の科目を履修することを推奨します。
  - ・国際関係論入門
  - ・政治学入門
  - ・アジア太平洋の歴史
  - ・統計学
  - ・地域研究入門
  - ・経済学入門
  - ・韓国語 I

これらの履修は、履修登録上限単位数内に含まれます。既に 2019 年度春セメスターで修得した科目については、再履修する必要はありません。

\*科目によっては、2019 年度秋セメスターに開講されない場合があります。

##### (2) 自主学習について

- 韓国語の自己学習について

KHU では、授業は全て英語で実施されるため、学習面において韓国語の言語能力は問われません。しかし事前に日常会話レベルの学習を進めておく必要があります。

#### 5. 単位認定および留学中・帰国後の履修について

##### (1) 単位認定について

- 派遣先での単位は、在学中のすべての単位認定を含め、APU の各セメスターの履修登録上限単位数に関わらず、60 単位を上限として認定を行います。
- 単位認定は、留学先の正規課程において修得した科目のうち、本人からの申請に基づき、教学部ならびにアジア太平洋学部で審査の上、行います。
- APU の開講科目と全く関連性の無いもの(体育、芸術等)の単位認定は、原則として行いません。
- 単位認定の結果、留学先での単位が APU 設置科目に認定された場合、それ以後、APU にてその科目を履修登録することはできません。また、その科目をすでに APU で修得済の場合は、単位認定をすることはできません。
- 認定された単位は、成績評価欄に[T]として記載されます。
- このプログラムに応募する際は、申請時の履修状況と照らし合わせながら、派遣先大学での履修科目や、帰国後の本学での単位認定と卒業及び進路について十分な計画を立てる必要があります。詳細は内定者ガイダンスで説明します。

## (2) 留学中と帰国後の履修について

留学中を含む、本学での履修計画は、各自の卒業時期に関わる重要事項です。履修計画によっては、4年間で卒業ができなくなる場合があります。必ず各自の履修状況と所属学部のカリキュラムを確認し、しっかりと計画を立てて留学に臨んでください。

### ■ APS 学修分野について

自身が選択する予定の学修分野の必修科目については、留学開始までに修得することを強く推奨します。また、留学先では国際関係系の学びが中心となりますので、最終結果発表後、「国際関係」を自身の学修分野として登録してください。

## (3) 言語教育科目(必修)の履修免除について(英語科目/日本語科目)

大学が指定する条件を満たした場合、事前の申請により、APUに戻って履修を再開するセメスターの言語教育科目(英語、日本語、AP言語)を履修免除することができます。詳細はAPU学部履修ハンドブックを確認してください。

言語教育科目(必修)の履修免除に関するお問い合わせ: [cleac@apu.ac.jp](mailto:cleac@apu.ac.jp)

## 6. KHU 学位取得のための要件

4年間で2つの大学を卒業するには、定められた科目ならびに単位数をKHU及びAPUにて取得する必要があります。KHU在籍中は、KHUのアカデミック・アドバイザーと相談しながら、履修を進めることとなります。また、次のページの表の通り、KHU、APUで一定の単位数を修得するため、計画的な履修を行う必要があります。

### (1) 春入学生 KHU での単位修得モデル

学年	セメスター	受講大学	KHU 取得 単位数	履修必須単位数内訳	APU で修得 する単位
1	1	APU	36 単位	APU からの単位認定	36 単位
	2	APU			
2	3	KHU	60 単位	各セメスター約 15 単位を修得 KHU からの単位認定	60 単位 (最大)
	4	KHU			
3	5	KHU			
	6	KHU			
4	7	APU	24 単位	APU からの単位認定	28 単位
	8	APU			
		<b>総 KHU 単位数:</b>	<b>120 単位</b>		<b>124 単位</b>

\*KHU の学年暦は 3 月から 2 月です。

### (2)KHU卒業要件

①KHU 卒業要卒単位数は 120 単位です。以下の表のカテゴリーから必要な単位数を修得する必要があります。

1. Common Liberal Arts	(33 credits)
A. Common Liberal Arts	33 credits
2. College Major	(57 credits)
B. Basic Majors	12 credits
C. Required Majors	18 credits
D. Elective Majors	27 credits
3. General Elective	(30 credits)
E. General Elective	30 credits
Total	120 credits

②APU 学生は KHU の卒業テストを受ける必要があります。

③APU から KHU への単位認定の上限は、他大学で取得した単位も含めて 60 単位までを上限とします。

\*KHU のカリキュラム改革などのため、卒業要件が変更になる場合があります。

### (3)KHU科目リスト

P.13 参照

## 7. 現在受給中の奨学金の留学期間中における取扱いについて

現在授業料減免を受けている学生も、留学中は減免を受け続ける事が可能です。ただし、留学中にも継続審査があります。

\*その他、詳細はスチューデント・オフィスに確認をしてください。

## 8. 留学にかかる費用について

留学中には、以下のような費用がかかります。(KHU への入学金、授業料は不要)

1) 授業料	2) 寮費*1	3) 保険料*2	4) その他
APU に納入	KHU に納入	APU と KHU 双方に納入	渡航費、食費、書籍代、パスポート、ビザ申請料、娯楽費、その他個人的活動に関わる費用等

\*1 入居状況により必ずしも入寮できるとは限りません。

\*2 APU 指定の海外旅行傷害保険(2 年間で約 23 万円)、危機管理支援システム(2 年間で約 5 万円)への加入が義務付けられています。これらは、出発前に一括で支払う必要があります。また KHU 指定の保険にも加入する必要があります。

[ 留学先の費用目安(年間) ] 約 100 万円

\*APU 授業料は含みません。

## 9 合格の取消しならびに派遣の中止、中断について

以下のいずれかに該当する場合、プログラムの合格を取り消し、もしくは派遣中止、中断となる場合があります。

- (1) APU もしくは KHU での成績不振により 4 年間のプログラム修了ができないと判断される場合
- (2) 第2セメスターにおいて通算 GPA が 2.80 を下回った場合、もしくは総取得単位数が 32 単位数に満たない場合
- (3) 2019 年 9 月 9 日までに言語要件(TOEFL PBT(もしくは ITP) :530 点以、TOEFL iBT: 71 点以上、IELTS:5.5 以上)を満たさなかった場合
- (4) 天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生し、プログラムの実施が不相当と判断される場合
- (5) 受け入れ先大学の事情などによりプログラムの中止が相当と判断される場合
- (6) 懲戒の対象になるなど APU を代表する学生として適当でないと教学部が判断した場合
- (7) 指定の海外旅行障害保険などに加入しない場合や、必要なガイダンスに参加しないなど、大学の指示に従わない場合
- (8) ガイダンスの参加態度や出席状況などを勘案し、プログラム参加不相当と判断された場合

## 10. APU への授業料支払いについて

留学中は、原則、海外で学費支払手続きができません。国際学生、および国内学生のうち学費を自己負担している場合など申請者自身が経費支弁者の場合は、派遣内定後、所定の学費納付手続きをとり、派遣前に留学期間中に納付が必要な学費全額を自身のゆうちょ口座に入金する必要があります。多額の学費を経費支弁者が負担することになるため、申請前に十分に話し合ってください。なお個別に学費の確認を希望する場合は、内定後アドミニストレーション・オフィスへお問合せください。また学費納付方法について問題がある方は、内定後(あるいは申請前でも)、下記に記載の担当者に別途相談をしてください。

## 11. 免責事項・注意事項

### (1) 海外実習時における注意事項

本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人)による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟、それに関わる対応等の責任を負わなければなりません。プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任を負いません。

### (2) プログラムの中止や内容の変更

参加者の健康や安全を第一優先するため、実習で天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合やその他の事情等によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行ってください。

### (3) プログラム参加決定後(合格発表後)の辞退について

大学は皆さんがプログラム申請をした時点で参加の意思があるものとして選考を行います。従って、プログラム参加決定後(合格発表後)の辞退は認められません。申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することがないよう準備を行ってください。

## 12. その他

### (1) 個人情報の取扱いについて

派遣に関わる調整・手続きを進める上で、申請に際し申請フォームに記入した情報、およびパスポート情報を第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、日本およびあなたの母国、ならびに派遣先国の大使館、領事館、外務省)に対して提供することがあります。

### (2) 姿勢

プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと決めてください。なお、派遣前に行うガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類の提出期日は必ず守ってください。また、プログラム参加中は大学が定めたルールを守らなければなりません。大学が定めたルールとは、別途「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」の他、飲酒、自動車・バイク運転、レジャースポーツの禁止があります。

### (3)履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。

プログラム合格後に問題が判明した場合も、履修の特別配慮等はありません。自己の責任において、プログラムへの応募を行ってください。

## Core Courses

- Introduction to Political Science
- Introduction to International Relations
- Introduction to Economics I
- Introduction to Economics II

## Required Courses

- Comparative Area Studies
- International Business
- International Finance
- International Political Economy
- International Security
- International Trade

## International Relations

- African Politics and Economy
- Contemporary Theories of International Relations
- Culture and International Relations
- European Politics and Economy
- Global Finance and International Politics
- History of International Relations
- International Conflict and Resolution
- International Economic Laws and Institutions
- International Law and Politics of Human Rights
- International Negotiation
- International Organizations
- International Terrorism
- Law & Global Governance
- Major Issues in Global Affairs
- NGOs and Global Governance
- Science, Technology and Society
- Topics in International Relations I (H)
- Understanding Foreign Policy
- Understanding International Law
- War and Peace

## East Asian Studies

- American Foreign Policy
- American Politics and Economy
- Chinese Foreign Policy
- Chinese Politics and Economy
- Comparative Political Economy
- East Asian Economic Development
- East Asian International Relations
- Human Rights in East Asia
- Japanese Politics and Economy
- Korean Economy
- Korean Foreign Policy
- Korean Politics
- Modern History of East Asia
- North Korea and Inter-Korean Relations
- Russian Politics and Economy
- State and Society in East Asia
- Topics in East Asian Studies I (H)
- Understanding East Asian Culture
- Understanding Southeast Asia

**【 アカデミック・オフィス／ダブルディグリープログラム担当 】**

TEL : 0977-78-1101  
FAX : 0977-78-1102  
E-mail : [outbound@apu.ac.jp](mailto:outbound@apu.ac.jp)  
担当 : 村上 舞、小野 由美子